

# 子どもの 新約聖書物語

文 わきたあきこ 絵 むらおかのぼる



# 子どもの 新約聖書物語

文 わきたあきこ 絵 むらおかのみほる



のよび  
聖書



はじめに

聖書は、世界でいちばんよく読まれてる本です。「もし、一さつしか本をもっては  
いけないといわれたら、わたしは聖書にする。」という人も、たくさんいます。それほ  
ど聖書はたいせつな、そしておもしろい本だから。

聖書は、旧約聖書と新約聖書にわかれています。旧約聖書はイエス・キリストがお  
生まれになるまえの、神さまのおことばと、すくいぬしキリストのたんじょうをまちつ  
づける人間の歴史を書いたもの、新約聖書は、いよいよイエス・キリストがお生まれに  
なつて、なさつたこと、おっしゃつたことを書いたものです。みなさんもおとなになつ  
たら聖書をぜんぶ読めるでしょう。けれど、いまはまだ小学生のみなさんに、したし  
みやすく、やさしい文章で、だいじなところだけでも知つていただきたいと思ひます。

これを読んで、もしイエスさまから、

「あなたは、わたしをだれだと思ひますか。」

ときかれたら、みなさんはなんと答えられるでしょうか。



#### 4 イエスの十字架と死

ろばにのってエルサレムに 117 ユダのうらざり 119  
 さいごの夕食 120 さいごのおこし 125

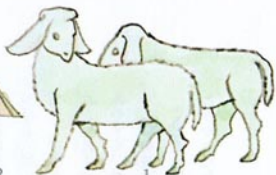
115



#### 3 イエスは光、いのち

使徒たちを町や村に 65 パンがふえる 66  
 波の上の人かけ 69 いのちのパンのお話 66  
 イエスが教えてくださったおいのり 72  
 ゆるしてあげ、ゆるしてもらおう 73  
 イエスはだれ 81 山の上のかがやくおすがた 82  
 てんかんの子 84 神さまがおすきな小さい人 86  
 神さまがおすきなおいのり 88 よけいにゆるしてもらおう人 89  
 まいごのひつじ 92 おとうさん 95 ベタニアの姉妹 99  
 みんなイエスの兄弟 100 まずしい人のささげもの 102  
 イエスは光 104 イエスはいのち 108  
 大祭司たちのわるだくみ 114

63



#### もくじ

#### 1 イエスのたんじょうと少年のころ

おめでとう、マリア 9 マリアの歌 12  
 イエスのたんじょう 13 はじめての宮まいり 16  
 東の国のはかせたち 18 エジプトへにげる 21  
 少年イエス 23

7

#### 2 イエスの教え、神の子の力

洗礼者ヨハネとイエスの洗礼 29 さいしよのでし 32  
 ぶどう酒になった水 33 十二人のとくべつなでし 36  
 山の上でなされたお話 40 カファルナウムの役人 45  
 ローマ人の百人隊長 46 生きかえったわかもの 48  
 つみをゆるす力 50 たねまきのたとえ 53  
 からしだねのたとえ 55 しずまったあらし 56  
 子どもよ、おきなさい 58

27



1 イエスのたんじょうと少年のころ



5

イエスは復活して、いつもわたしたちといっしょに…145

とらえられたイエス 126 大祭司のさいばん 130

ローマせうとくピラトのさいばん 134

十字架につけられたイエス 130 イエスの死 143

からっぽの墓 147 エマオの旅びと 150

使徒たちにあられる 154 トマスのうたがい 155

天にのぼられるイエス 158 聖霊と、教会のはじまり 159



おめでとう、マリア

マリアとヨセフが二千年まえに住んでいたナザレは、いまもイスラエルの国の小さい町です。だから、そのころには、おひやくしょうさんや、ひつじかい、道具づくりの職人がわすかばかり住んでいる、ほんとにまずしいところでした。

マリアは、まだ十四歳か十五歳の少女、ヨセフはわかい大工で、ふたりはまもなくけっこんすることになっていました。まずしいけれど、ふたりとも、むかしむかしのりっぱな王さまダビデの子孫といわれていました。そして、このダビデ王の子孫から、いつか、すくいぬしキリストが生まれるという、神さまのやくそくが、ずつとつたえられていたのです。聖書をけんきゆうする学者たちは、そのすくいぬしのたんじょうはもうすぐだろう、といっていました。

そのころ、イスラエルはユダヤの国といっていました。ローマ人にせんりょうさされていて、ユダヤ人の生活はとてむろしかつたので、人びとは、すくいぬしのたんじょう



うを、いまかいますかと、まっていたのです。マリアとヨセフも、すくいぬしを心からまつている人たちでした。

ある日のことです。マリアの家に、とつぜん、ひとりのお天使がはいつてきました。

「おめでとう、神さまのおめぐみでいっぱいのかた。神さまはあなたといっしょにいらつしやいます。」

いきなりこんなすばらしいあいさつをされたので、マリアはびっくりして、天使を見つめました。天使はつづけていいました。

「おそれることはありません。神さまがあなたにすばらしいおめぐみをくださいます。神さまのふしぎな力で、あなたは、ひとりのお子さまをお生みになります。イエスとお名まえをつけてください。このかたは、神さまのみ子とよばれるでしょう。ダビデの子孫からいついつまでも王となるかたが生まれる、といわれているのは、このお子さまのことです。」

マリアは天使のことをしんじて、答えました。



「わたしは神さまのものです。おっしゃるとおりになりますように。」

## マリアの歌

天使は、もうひとつのよい知らせもマリアにつげました。

「あなたのしんせきのエリサベトも、あんなに年をとっているのに、神さまのおめぐみで、まもなくあかちゃんを生みますよ。神さまにおできにならないことはいけません。」

そこで、マリアは、天使が帰ったあと、いそいでエリサベトをたずねていきました。うれしくてたまらないマリアは、遠い町まで、走るようにしていきました。

マリアがエリサベトの家にはいって、声をかけると、エリサベトは、おなかのなかのあかちゃんがよろこんでとびはねるように感じました。

「ああ、マリア、神さまのおことばを聞いたあなたは、なんてしあわせなかたでしょう。神さまがおっしゃったことは、ほんとにそのとおりになるのです。」

と、エリサベトはいいました。マリアは、まるで心のよろこびがばくはつしたかのよう  
に、神さまをたたえて、うたいだしました。

「わたしのたましいは、神さまをたたえ、

わたしの心は、うれしさにおどります。

わたしのような、つまらないものに

神さまは、すばらしいことをしてくださいました。

いまから、いつまでも、いつまでも、

人びとは、わたしをしあわせなものとおぶでしよう。」

## イエスのたんじょう

それから、マリアとヨセフは、天使がやくそくしたあかちゃんのたんじょうをまちな  
がら、ナザレで、しあわせにくらしていました。

ところが、そのうちにローマの国の皇帝のめいれいで、ユダヤ人はみんな先祖の町へ